

一般社団法人日本解剖学会 2024(令和6) 年度第1回理事会議事録

日 時：2024(令和6)年3月20日(水・祝) 17:00～19:10

場 所：沖縄県市町村自治会館（2F 中会議室）

出席者：寺田 純雄（理事長）、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、大内 淑代、岡部 繁男、木山 博資、阪上 洋行、佐藤 真、篠田 晃、島田 昌一、徳田 信子、野田 泰子、菱川 善隆、藤山 文乃、和中 明生（以上、理事）、八木沼 洋行、渡辺 雅彦（以上、監事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林浩秀（以上、常任幹事）、宮田 卓樹（理事候補者）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：千田 隆夫、吉田 成孝（以上、理事）、海藤 俊行（理事候補者）

I. 理事長および第129回総会・全国学術集會会頭 挨拶

寺田純雄理事長の挨拶ののち、第129回総会・全国学術集會会頭の高山千利先生より挨拶があった。

II. 議事録署名人の確認

定款第39条の規定に従い、八木沼監事と渡辺監事を議事録署名人として選出した。

III. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

2023(令和5)年度第5回理事会（2023(令和5)年12月16日開催）議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、3年間未納者(31名)について報告された。3年未納者については、できるだけ会費納入の声かけを行うこととなった。

(2) 教授就任による代議員について

資料に基づき、以下の2名の代議員申請があり、常務理事会で承認されたことが報告された。

天野 カオリ 氏(神奈川歯科大・歯・基礎歯科学解剖学・教授)令和5年12月1日就任

寺井 健太 氏(徳島大・医・顕微解剖学・教授)令和5年12月1日就任

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき男女共同参画学協会連絡会の活動が報告された。

(4) 若手研究者の会報告

資料に基づき、若手研究者の会の春の学校の開催、人体解剖セミナーや人体解剖実習への参加費旅費支援事業の実績及び今後の予定について報告された。

(5) 第129回全国学術集會期間中におけるスケジュール確認

資料に基づき、2024年3月21日から開催される学術集會の日程と、各種委員会開催日程および開催場所が確認された。

(6) 倫理/利益相反委員会報告

資料に基づき、倫理審査等に関するアンケートのまとめを作成中であること、さらに、解剖学雑誌の誌上でアンケート結果を発表することが報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

- (1) 2025年以降のASI出版契約について
資料に基づき、ASI出版に関する契約についてSpringer Nature Singapore社から2025年以降の提案内容について報告された。新契約では、出版社から日本解剖学会への支払いが一定額からRoyaltyとしての支払いに変更になり学会にとっては有利になることが想定される。
- (2) ホームページアクセス解析報告
資料に基づき、主要アクセス指標が過去最大になったことが報告された。
- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 二級認定技術者審査結果について
資料に基づき、二級解剖・細胞組織技術者1名の資格審査合格の判定結果が報告された。
- (2) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、日程と開催場所、プログラム委員会の構成、プレナリーレクチャー・特別講演、シンポジウム企画、今後の予定など、準備状況が報告された。
- (3) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、分科会用語委員会（1/15・若山友彦先生ご出席）、第12回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第12回シンポジウム「AIと医学雑誌編集」（2/5・福田常務理事ご出席）、第91回日本医学会定例評議員会/連合2023年度臨時総会（2/21・尾崎常務理事ご出席）と岡部繁男理事の日本医師会賞受賞、連合10周年記念式典（3/1・大和田常務理事ご出席）に関する報告があった。また、第3回基礎部会Rising Starリトリートへの2名の推薦が報告された。また、日本薬理学会を幹事とした領域横断的連携活動事業（TEAM事業）「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究の推進」の申請と活動に、日本生理学会とともに協力していく方針が報告された。
- (4) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、第28回運営会議（12/19）について報告された。大学への運営交付金の減額、円安、物価高騰等を受けた科学研究費の増額の要望への署名の依頼に関し、内容を今後さらに検討する方針であることが報告された。また、NPO法人動物実験関係者連絡協議会からの動物実験の機関管理の外部検証に係る国全体の統一的制度の整備に関する要望書の提出について、生物科学学会連合から賛同依頼があったことが報告された。
- (5) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、連携法人会員の入会承認に関するメール審議について報告された。
- (6) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA）
資料に基づき、KAAからのIFAA開催に係るJAAメンバーへの周知および連携シンポジウム提案を通じた協力要請があり、対応したことが報告された。また、JAA-KAA間の国際交流協定の申し合わせの締結予定が報告された。APICAの次回開催予定地の決定が近いこと、総会・学術集会に合わせたAPICA開催と招致活動についての検討、IFAAの今後の開催予定地について、報告された。
- (7) 日本外科学会CST推進委員会報告
資料に基づき、1月15日に行われた令和5年度第3回CST推進委員会・厚生労働班会議合同企画について、各大学へのフィードバックによる改善が不十分であることを含め、報告された。また、2月26日に開催された令和6年度第1回CST推進委員会、一般社団法人CST（仮称）の打ち合わせ（3月23日開催予定）、および第124回日本外科学会定期学術集会におけるシンポジウム「CSTの新展開：法人化に向けて」（4月20日開催予定）の内

容について、報告された。

(8) 学術委員会アンケートについて

資料に基づき、例年に倣い、第129回日本解剖学会総会・全国学術集会においても参加者を対象にアンケートを実施することが報告された。

(9) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2024(令和6)年度中間決算書について

資料に基づき、2024(令和6)年度中間決算書(1月1日～2月29日)について報告された。

(2) 賞・研究費候補者選考委員会報告、次期賞・研究費候補者選考委員会の構成と奨励賞募集概要について

資料に基づき、12/21に開催された選考委員会の経緯と結果、3名の受賞について報告された。また、今年度の新任の選考委員および募集要項の内容について報告された。

(3) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 理事辞退届、ならびに繰り上げ当選について

木山博資理事(中部支部)、篠田晃理事(中国・四国支部)から理事退任の申し出があった。定款第23条2項ならびに役員選出細則第5条の規定により、後任の理事には宮田卓樹代議員(中部支部)、海藤俊行代議員(中国・四国支部)が就任することが報告された。

(2) 徳島大学照会「他学部所属学生の系統解剖実習参加の可否」について

資料に基づき、富田江一氏(徳島大学医学部機能解剖学分野・教授)から、医学部・歯学部以外の学生の剖出を伴う解剖実習実施の可否について解剖学会に問い合わせがあった。常務理事会において議論した結果、現時点では医学部・歯学部以外の学生が実習に参加する場合は見学に留めるべきとの結論に至り、その旨を返答したことが報告された。

(3) その他

事務局担当者の交代について報告があった。

V. 審議事項

1. 2023(令和5)年度決算および業務監査報告の件

資料に基づき、決算書の説明があり、審議の上、了承された。また、監事(八木沼洋行氏、渡辺雅彦氏)および独立監査人(公認会計士)による監査報告書の内容が報告された。監事から、学会の保有する資産の会員への還元やインボイス制度に関する継続的な情報収集に関して提言があったことも報告された。

2. 2024(令和6)年度予算および事業計画の件

資料に基づき、予算および事業計画の説明があり、審議の上、了承された。

3. 2024(令和6)年度定時社員総会資料と議長の確認

資料に基づき、議長選出からの総会の流れおよび内容について説明があり、審議の上、了承された。

4. 第12回アジアパシフィック国際解剖学会議(12nd APICA)招致について

資料に基づき、2027(令和9)年の全国学術集会との併催の可能性について、議論の結果、海外交流委員会を中心に各国の研究活動について情報収集して招致の可否を検討することとなっ

た。

5. その他

特になし。

次回理事会（2024(令和6)年度第2回）の日程は以下のとおりとなった。

日 時 2024(令和6)年12月21日（土）14：00～17：00

会 場 AP新橋 ※ハイブリッド形式で実施